

ここが聞きたい!

# いっぱん

## 地域資源活用による産業振興と雇用の推進を

石原武志 議員

### 町長 プレミアム商品券の実施等活性化に努める



**問** 次年度予算重点項目には地域資源活用による産業振興と雇用の推進・歴史文化資源活用による交流人口の拡大とある。たたら製鉄関連事業や棚田・鬼の舌農の自然景観の推進と理解するが、一方でそろばん産業もその一角を担う役割があると思う。

そろばん産業の新たな振興・伝統産業として活躍等支援策は。

**答** わが町の雲州そろばんは県内4件しか指定されていない国の伝統工芸品の一つだ。近年電子機器の普及により需要が減っているが知育道具として価値が見直されている。多少売り上げは上昇傾向

にあるが、後継者不足や事業の継続性などで問題を抱える現状だ。

支援については、そろばんだけでなく関連の工芸産業も含め、国の事業などの併用を考えながら検討していく。また、今後引き続き伝統産業を支えるため生産に携わる関係者と協議していきたい。

**問** そろばんの町として義務教育の過程において町独自の教育方針としてそろばんの授業を小・中課程の中に取り入れることはできないか。

**答** 学習指導要領との関係はあるが、個人的には実現できればありがたい。

**答** 安部教育長  
以前に県教育委員会も鳥根の教育として位置づけようとして町内の小学校が研究指定校に指定され実践研究を行った実績がある。現在のような問題をクリアするには時間数の確保と指導者の育成という課題がある。期待する姿を生み出す

には生産者を始め学校関係者・塾の指導者などが一堂に会話し合う必要があると思う。

**問** 商工会が町内消費者を対象に消費アンケートを実施した。消費動向において地域差・特色があり、地域振興・支援・事業計画という点で仁多・横田地域差について問う。

**答** 商勢調査実態調査によれば地元購買率が地域により異なることは承知している。地勢的な問題は存在するが商工業対策は地域で異なるものとは考えていない。地元購買率を高め地域内で経済が循環する施策はぜひとも必要であると考えている。

プレミアム商品券の実施をはじめとして引き続き商工会とも協議しながら町全体の商工業活性化に努めたい。

**問** たたら製鉄やそろばん関連産業をはじめ地元伝統産業の復興推進及び元気な商工業者が集う街づくり対策の実施、合わ

せて魅力ある独自の学校教育、町独自のそろばん教育の実施などを望む。



商工会主催・雲州そろばん珠算競技大会の様子

